

子どもたちに伝えたい防災のこと 2012

企画参加団体募集要項

1. 子どもたちに伝えたい防災のこと プロジェクト立ち上げの経緯

私たち全労済は、消費生活協同組合法（生協法）にもとづき、厚生労働省の認可を受けて共済事業を行う生活協同組合です。全労済は助け合いの精神から生まれ、営利を目的としない保障の生協として、各種共済を通じて組合員の皆さまに安心をお届けしてまいりました。この東日本大震災においても全国の全労済職員が現地に赴き、現在、現場調査件数は14万5千件を越え、お支払いした共済金額は1,100億円を越えています。

被災地を目の当たりにして私たちは、再建はもちろんのこと、災害から身を守るための行動が優先されることをあらためて認識し、そこで、県内で子どもたちを対象に活動するNPOに呼びかけ、「子ども防災ネットワークおかやま」として、防災教育推進活動の準備をはじめました。

自然災害が少ないと言われる岡山で、子どもたちに直接、防災知識を教えるだけでなく、子どもから家庭へ、そして地域へと防災・減災への関心が広がるようにしたい。そのために、知識を伝えるだけでなく、知識を伝える担い手を地域の中に育てていきたい。

「子どもたちに伝えたい 防災のこと」のプロジェクトはそんな想いからはじまりました。

2. 募集内容

来年3月4日に行われる防災イベント「子どもたちに伝えたい防災のこと 2012」で、あなたの作った防災教育プログラムを発表してみませんか？ プログラムのテーマ・内容は次のとおりです。

- (1) テーマ 地震や津波に対する防災・減災について
- (2) 内容 幼稚園、保育園児・小学校低学年までの子どもたちに防災・減災をわかりやすく伝え、さらにそこから親子（家族）で会話の生まれるもの
- (3) 表現方法 次のいずれかに含まれるもの
 - ①観覧型プログラム・・・人形劇、パネルシアター、演劇、影絵、絵本の読み聞かせなど、20名から100名程度の子どものたちへ公演するタイプのもの
 - ②体験型プログラム・・・ワークショップ、クイズなど、1名から30名程度の参加者が体験できるタイプのもの
 - ③映像型プログラム・・・パソコン、プロジェクターで視聴可能な、10分以内のショートムービー
 - ④展示型プログラム・・・パネル展示のほか、災害の起こるメカニズムなどを紹介する立体展示、実験展示など

3. 選考基準

- (1) 子どもたちが興味をもって学んだり、感じたり、参加したりできるものであること。
- (2) 子どもたちがその体験を家庭に持ち帰り、会話が生まれるようなものであること。
- (3) 参加団体は、2012年3月4日開催のイベントに参加が可能で、さらに県内で定期的に防災教育を行うことができるグループであること

4. 選考方法・通知

2012年本年1月に開催予定の選考委員会に於いて選考の上、公演団体を決定します。

応募選考結果は、2012年1月中旬頃、参加希望団体にお知らせ致します。

なお、全労済ホームページ、子ども防災ネットワークおかやま公式サイトにも、選考結果（グループ名・代表者名）を公表致しますので、この旨ご了解の上、お申し込み下さい。

5. 子どもたちに伝えたい防災のこと 2012 について

2012年3月4日（日） 13:30～16:00

県内のセミナータイプの小規模会場と付帯するオープンスペースを想定しています。

6. 防災教育推進サポートプログラムについて

(1) 公演団体へのサポート

①上記選考経過を経て、公演団体に選ばれたプログラムの制作費の一部を補助します。

※ 上限3万円8団体まで/後日実費精算

②アメリカで子供向け心理療法プログラムなどで使われているフォークマニス社のハンド・パペットの貸出を行ないます。※上記①のサポートを受けていない団体を優先

(2) 幼稚園・保育園などへのサポート

①2012年1月より、危機管理アドバイザー国崎信江さん監修の防災教育モデルプログラムの出前講座を行います。※下記事務局にお問い合わせください。

7. 申込方法、締切、問い合わせ先

所定の申込用紙（A4用紙）に必要事項を記入の上、下記事務局宛ご送付ください。

2012年本年1月に開催予定の選考委員会に於いて選考の上、公演団体を決定します。

【申込締切（参加表明期日）】 2011年12月26日（月）

【申込書送付先・問い合わせ先】 子ども防災ネットワークおかやま 事務局

〒700-8569 岡山市北区駅元町6-26 全労済岡山県本部内

TEL 086-254-2155 FAX 086-253-3887 担当：管、西村

<http://www.zenrosai-okayama.coop>